

須賀川市中央図書館 ニュースレター



Library news letter

電子版
(令和2年4月)



臨時休館中の業務「利用者の皆さまへのサービス向上準備期間」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民交流センターtette(テッテ)全館が臨時休館になり、日ごろからご利用いただいている皆さまには大変ご不便をおかけしております。

【臨時休館期間：令和2年4月9日～5月6日(水曜日) ※期間は変更になる場合があります。】

中央図書館では、3月の臨時休館中に行った蔵書点検や書架・書庫の整理で発見した「汚れた本、傷みのある本」などの修繕やデータ入力作業、「寄贈図書」「寄贈視聴覚資料」や「須賀川の郷土資料」などの分類・整理・保存を進めています。

また、外出を自粛されている皆さま向けに「ウルトラFM」と連携して、「絵本や物語の読み聞かせ」の収録を行っています。



日本の昔話や世界の民話を収録

ウルトラFMスタッフの方のご協力のもと、「おはなしのろうそく(東京子ども図書館出版)」「新平と須賀川」などを、図書館職員が朗読し、録音しました。

放送の時間については、ただいま調整中です。お楽しみに♪



ウルトラFMにチャンネルを合わせよう♪

新型コロナウイルス情報や須賀川市のホットな話題が盛りだくさん！
須賀川地域コミュニティFM ウルトラFM 86.8MHz
電話：0248-63-7002、FAX：0248-63-7003

本の「しみ抜き」作業

本やページを傷めないように
慎重かつ丁寧にいきます

●準備物

- ハイター、綿棒、紙コップ、水、ティッシュペーパー、ゴム手袋
- ①汚れ具合に応じて、2種類の濃度に薄めたハイター液を作る。
 - ②液に漬けた綿棒で、「しみ」を優しくたたく。
 - ③浮き出た汚れをティッシュで吸い取り、水を含ませた綿棒でなでる。
 - ④再び、ティッシュで水分を吸い取る。
 - ⑤作業したページを乾かす。



テッテスタッフ一丸で！

今回の作業も、3月に引き続き、テッテスタッフ総動員！
前回に引き続きの本の点検に加え、発見した図書の汚れ・シミ・破れなどの補修は、わいわいパーク・子育て支援センタースタッフにも協力していただきました。
外部の施設に保管していた大量の寄贈図書運び出し、テッテに車で運搬する作業は総務課や企画課のスタッフが活躍しました。

でんぜんホールを有効活用

寄贈していただいた資料が膨大だったため、仕分けや整理を行うには、長期間作業できる広い場所や専念する人員が必要でした。通常開館中も、少しずつ作業を進めていましたが、なかなかはかどりませんでした。

今回、別の施設からテツテ内のでんぜんホールに運び込んだ寄贈図書の高さは、右の写真、山積の段ボール箱で一目瞭然！

実はこれでも全てではありません…



寄贈図書の整理作業

- ・「全集」「単行本」「文庫・新書」「美術書」などに分類、仕分けします。
- ・本と図書館のデータを突き合わせ、所蔵がない本は「受入用」、所蔵がある本は「リサイクル用」に仕分けして箱詰めします。
- ・「受入用」の本は、順次、登録作業を進め、利用者の皆さまに閲覧や貸出ができるように配置します。

リサイクル用の本は

「リサイクル用」の本は、テツテが再開し、図書館が開館してから、皆さまの目にとまる場所に並べて、気に入った本を持ち帰っていただけるようにする予定です。

●図書館開館中、本1冊につき10円で提供します。

例年実施している「リサイクル広場」の開催については、新型コロナウイルス感染症関連の状況に合わせて検討します。



須賀川の郷土資料の保存

郷土資料は、書店などで流通している図書と異なり、いつでも手に入るものではありません。もともと販売していないものもあります。

図書館には、貴重な郷土資料などを収集・保存し、後世に伝える重要な役割があります。

左の写真は、郷土の宝である「マメタイムス・阿武隈時報」の原紙を「保存箱」に整理しているところです。

また、閲覧などで原紙が劣化しないように、電子データ化を進めています。

視聴覚資料（CD）の貸出準備作業

寄贈していただいたクラシックCD 100枚の登録を進めています。貸し出せる状態までには次の作業を行います。

- ①CDケースに楽譜や歌詞カード、ICタグ付きバーコードを付ける
- ②貸出・返却をスムーズに行うためにテプラなどで管理情報を付ける
- ③CD本体を管理番号順にファイリングする
- ④資料のデータをシステムに登録する（タイトル、作者など）

